

8B-7
no.16

GAa1/1

8B-7-16

和
二
七
年
四
月

働く少年少女を囲む座談会

労働省婦人少年局



女性と仕事の未来館



00964188

幼く少年少女を囲む座談会

昭和二十七年四月十八日（金）

自午後一時至四時

於婦人少年局長室

出席者

氏名	年少労働者	年齢	職名
原 多美江	一七	一七	勤務員
田 中 道敏	一六	一六	見習工
大久保 登美子	一七	一七	配線工
石 井 良平	一六	一六	新聞配達
小谷 部工ミ	一六	一六	電話交換手
鬼 島 明敏	一七	一七	張 業
内 田 松子	一五	一五	
一 戸 洋子	一五	一五	
龜 井 照	一七	一七	魚 店
飯 田 眞澄	一七	一七	総計事務
今 井 淑夫	一六	一六	給 仕
友 田 金乃美	一七	一七	織 城 工
吉 見 政雄	一八	一八	
小 林 弘道	一七	一七	

勤務員

大昌堂洋紙店

文丹堂印刷所

横河電機製作所

立川南部新聞販売所

東京市外電話局

岩田石粉工業KK

総理府統計局

十代田織維維品合資会社

大日本紡績東京製絨工場

早稲田大学第二事務部

都建設局

選者

〃

平林たい子
藤本喜八

司会 東京歌壇室

伊藤 俊子

年少労働課長

工藤 誠爾

年少労働課

渡辺 祥輔

年少労働課

徳永 ほか江

年少労働課

柳沼 国郎

年少労働課

柳沼 国郎

外部参加者

相島 敏夫

法政大学出版局長

磯野 誠一

法政大学教授

田沼 尚肇

〃

上田 左三郎

日本教育新聞社

北 兵衛

教育文化部長

北 兵衛

教育文化部長

北 兵衛

日本読書新聞

森 秀男

課長候補

平林文史

皆さんが大変一生懸命に書かれたので選者としての私は喜んで居ります。

校数が少なかつ

たのでむずかしいと思われましてしょうが、よく書かれて居りました。たゞ、もう少し制限を広げて頂けたら、皆さんがもっともつと、深いところまで掘り下げて書いて頂くことができたことと思います。

平林文実

今度の作文集が出来たことについて産主はどういう態度に出たか。

小林

僕のところの産主は知らない。

塩島

僕のところは、郵便が来たらすぐかくしてしまった。僕の記録はみづかると怒られるから。

小谷部

課長に見せたら喜んでいい。

大久保

まだ見せていない。

司会

今日の座談会の出席については。

吉見

東上線で通勤しているのを丁度ストライキだったから、学校（勤務先）に行かずに直接来てしまった。

司会

作文を募集していることについては何で知ったか。

小谷部

会社の掲示板に広告があつたので、たゞ何となく出してみた。

大久保

新聞を見た。母にすすめられたので書いた。

小林

ラジオで聞いた。当時まだ勤めていなかった。

一戸

新聞を見た。就教する時のことを書いたが、日常生活のことを書いてみたかった。

司会

作文を書いて出した彼の感想は。

石井

新聞をみて募集していることを知ったが、書くとき、新聞の販売について相当不満を持つていた。

たので、それを書いてみたかったが書かなかつた。

給料も非常に安い。平均して一五〇枚（一日）を配達するが、朝刊だけだと一ヶ月七〇〇円位、今度朝夕刊になったので約一四〇〇円位。一五〇部を一時間半（立川のため）位かゝつて配

田中

違するが、夕刊もあるのを学校生活に大部支障をきたす。
雇主は基準法がある事は知っていて、その心配がなく、選り時は七時頃になる。 赤文庫が書いて
る事を知っているも内容は見えない。

司会

今井

配達の時、間違つた場合バカヤロと怒られるのが辛い。 仕事は忙しかったため帰宅が時々遅くな
る。 配達は日に一回回し。 今夜学校に行きまじめたが、学校に行くことについて社長は賛

成しないが、仕事が終わつてお証で学校に行くことにした。

藤本教授

今井

公共職業安定所では、就職して夜学に行くという条件でこころわられるのが一番多い由だ。
普通は八時から四時なので学校に行かれるが、配達の日は遅れしてしまう。

一戸

私のところは許可学校に行けと言う。

么田

二番制のため夜の部になつた時は行かれぬ。 昼食の組もあるが、学校に行きたいからとい

つて昼食にかえて貰えない。

龜井

家が魚店なので朝魚河岸に買出しに行く日があるため、寝る時間が平均して六時間位しかなく
疲不足である。 又基準法は適用とれない。 友達の家に行つて「まいどありがとう」とい

うのが一番辛い。

龜島

前の勤め先は犬が大団圓いて（エーラクセンネル）と此を面倒なる仕事であつた。 犬を飼うよ
うな家は大概ブルジョアである。 今は勤先で知り合つた家に訪ねて貰うことになった。

北浜（長瀬）

一戸

通信教育を受けている人も居ると思うが、通信教育について希望は、……

鬼島

私は通信教育を受けている。 答を出してから四週間経つけど、未だに返事がない。

坂田

国語だけで通信教育が盛つてしまったようで残念であつた。
私もやつてゐるが、家庭ではなか／＼勉強できない。 映画に行くというところを出して、夜更が……

藤本教授 親の理解がないのですね。

田中 毎日授業やるため、なか／＼勉強ができないので残念でならない。

鬼島 通信教育の教科書と国定の教科書とがあるが、通信教育でどの程度実力がついたか、自分でも

わからない。

友田 理科など実験をやらねばならないと思うが、出来ない。する暇がない。

総理事務官 通信教育は一人をやっているの、先生もいないし、どうやっているか。

一戸 会社の人などに聞いたりしてやっている。

友田 早番の時は終つてから（三時半頃）図書館に行つて勉強する事になっている。家では家の人達

が内取（時計の金具）をしているので家では出来ない。私の勉強など認めてくれない。

原 私は今までの皆さんのお話を聞いていると私自身幸福に思う。会社の待遇はすばらしい。

月給も一万円位貰っている。会社は女の人は一五人位いるが、学校に行っているのは自分だけである。

藤本教授 「小さな大里社」を讀んで感心したうは、昼、学校に行つてアルバイトするのはおぼつかしいの

で、夜学に行き昼、休くことに賛付いた点、非常によいと思つた。

友田 家業だから皆さんより早く起きなければならず、家業は女には辛い。

飯田 職場より学校に居る時の方が嬉しい。私達のところは右腕ばかり使う（繊維府統計局）ので

辛い。組長が部長に強いられて行動しているように見えるので私達も見えてもらえない。

小谷部 私は交換手で一一八番の原なのさ。評判わるくなか／＼つながらないのは辛い。夏など汗が

出て特に辛くてたまらない。二時間やつて三の分の休みしかない。とにかく仕事につく時間

（動いてはいけな時間）が長くて辛い。定額法でなか／＼人を入れてくはず、交換台にラ

ンナがついてる人が充分いないので困る。一一八番はなか／＼出ないのも人員が少ないため

と思う。

平林文次

小谷部

平林文次

私も交換手の経験はあるので交換手の辛いことはよくわかりますが、何と云つても寂れる。とにかく人頭が少いので私一人が此処に来ると、あとう人は大変困つてゐると思う。私の経験は今から二八、九年前のことですが、その当時は服装は規定されていて、皆袴を着けなければならなかつた。

玄田

私の家の三、三軒前にパチンコ屋があつて、こゝでレコードを大きな声でしかも夜深くまでかけてゐるので、勉強の妨げとなつてゐる。

原

私の会社には交換手が二人程居るが、たまに休まれることがあるので、私もその時は交換手をやつてゐるが、他の人から話してゐるため、読書の休息所のようになつてゐる。

小谷部

それは私設電話局でしようと思うが、私達の方では皆私設電話局に憧れて居る。給料も今のところより高いので、

玄田

私の会社には「友達」という本が来るが、これを読むとインテリなどと言われ、あまり思わしくないと言われる。

藤本教授

「友達」でもなんでも、本を読むと一応理屈も言うので幾分眼で見られるのではないかと思う。しかし本を読むことによつて、仕事そのものにマイナスになつてしまふことはないと思う。

又、マイナスになつてしまふことはいけないと思う。

大久保

私の会社には組合があるが、殆んどの人が両心がよいのには驚いた。特に女の人に両心がよい。昼休に大会があるときなど、殆んどの人が散歩に出かけてしまふ。

又、男の人の中に「女の人はお茶くみと掃除をすることだけ」という考え方が多いのは困る。

玄田

私の会社は交番制勤務であるが、一たん組んだ組は変えることが出来ないが現状で、通勤で

亀井

藤本教授

も早急、運動がある。
家の仕事は基督教には適用されないのですか。組合はあつても無いような状態ではないでしょうか。こういうことについてはどうお考えですか。

あなただけのように職業は適用されない。組合には幹部の人が居るわけであるが、その人数が少数者のために関心をもちてもらいたい。組合とは本来こうあるべきだ、こうして貰い度いという一時的な教育は何処の組合でもしていると思う。

基督教がまもられるように組合が努力し、若い人のためにも、気をつけて貰えなければならぬのである。

うっかり言うと言つてしまふとよく言われるが、そういうことは組合がやらねばよいのである。

大久保

石井

北浜（日教組）次に皆さんに学校の問題について伺いたい。

私の会社では青森対策部があるわけで、組合としてはそれほど同じ心がないとは言えない。僕のところでは殆んど関心がないというより知らない。

皆さんが小学校や中学校の先生と、今でも交渉をもつてゐるか、先生と生徒というより人間として話をしてゐるか、又、先生方にどういふことをお尋ねしてゐるか、等について皆さんから伺いたい。

田中

工藤課長

鬼島

大してよい先生と思わない。

田舎だと都会と違つて先生と生徒とは、割合緊密な連絡がとれるのではないか。

小学校の先生だが、かつての東田銀岡の時、なにかにつけて我々に親切に親のやうに面倒をみてくれたので、今でもその御恩は忘れられない。

会社の事務所の人だが私達に何かにつけて共產主義を教える。

友田

例えは図書館に建ルていつてやると言われたので、つい行って行くといっしかデモも参加せられようになる。

赤になると首になることは私達は知っている、私達はこの点一番困る。知らず／＼のうちには皆がそのような方向に染つてしまふのではないか、私達は何かにつけて不満があり、又学校に行きたくても行けないので、不公平のないようにと、又、〇〇女性の集まりとか、〇〇会とか度々会合があり、又私達にもよく教えてくれるので、そのような点ではとてもよいと思うのであるが、

建ルて行つてもらうこと自体は決して悪くないと思うが、困ることは困るとはつきりすべきである。

玄 田

よいこともあるが、悪いこともあるので困る。

原

私は先生になろうと思つたが、学校時代先生の生活に不満を感じたので普通の学校に行つてしまつたが、しかし、先生の御恩は死ぬまで忘れられない。

藤本教授

まい先生にあつたが、教師の生活に不満を感じたことだけで教師にならなかつたのか。

原

自分に先生になる資格がないと思つた。又、先生が教壇に立つた場合と、自分とが矛盾を生じたので断念した。学校で先生が恋愛論や私生活について話をする。とにかく教員としての矛盾を感じたのである。

内 田

中学の先生だが、私のところは農村で極めて封建的などころであるが、先生が父に猛烈に進めたので文学校に行くようになった。今でもその先生にいろ／＼なにかにつけ相談することがある。

ある。

私の父は元重人であつたが、たくなつてしまつたので、なにかにつけ私と母とは何時もはげまし合っている。がしかし、何かにつけ自分達は男の人より不利だと思ふ。

原

平林女史

原

あなたとは結婚しても今の仕事を断けてやろうと思ひますか。
結婚してもやれないこともないと思つた。……やっぱり結婚したら家庭に入つて、主人のために一生懸命にやるのがいいと思う。

藤本教授

吉見

現在の仕事は将来の考へ方とどう思ひますか。
担任の先生が早大の事務所に勤めていたので将来のことを考へてでなく、勉強のために現在のところに入つた。

原

商店に対して関心がなかつたが、先生について矛盾を生じてから生きることについて、商店とさう離せないことから商人になつた。

自分が新人になろうと思つたのが、商人になつてしまつた。しかし現在の境況から考へると大いに満足している。

内田

大久保

将来先生になりたいと思つたが母が大反對する。
中学の先生に紹介されて現在の会社に入つたが、私も最初は原さんのように先生になろうと思ひましたが、やはり考へさせられ、今では速記者になりたいと思つて居る。あと二年で学校が終るので、それからじつくりやろうと思つて居る。

坂野教授

亀井

長男、女等の家族制度と将来の問題について。
長男だからというのではなく、妹や弟等が一人前になるまで僕は面倒を見なければならぬと思つて居る。僕自身は妹等が一人前になるまでと思つて、自分を犠牲にすることを止むを得ないと思つて居る。

玄田

原

私も同感。
妹は進んで。あととり。を言つて居るが、妹はどの必要はないと思つた。
妹がやりたいと思つても出来なかつたことをやらせてみたいと思つて居る。

藤本教枝
北浜氏

親子等の愛情はどこにもあることで、それは家族制度ではない。

多数いる先生の中には批判される先生もあろうし、又不満をもっている者も居るかも知れない。中学に

行けない人が六〇万もいる、とにかく勉強したくともできない人ができるように、私どもは奮

勵している。教育の機会均等をどこまでもわれわれノとして進めて行く、そして又幼きつゝ

学ぶことが出来るようにと進めて行く。皆さんのためにも出来る限りの援助をしたいと思う。

原文を出された人達とも友達になりたいという人が居るか。

司 会
内 田
相馬氏

友達になり文通したいと思うが、出したいところ住所が書いてないで困る。物質的

司 会
玄 田

或いは精神的な面について皆さんが御相談下さる機会をつくってほしいと思つてゐる。

一 戸

平林文史

私は時々原稿を書くので先生に見ていただきたいと思う。

亀 井

平林文史

鬼 島

強い意志と批判力を養ふことが必要であり、あらゆる人間に対して自己の批判力を養ふことが必要である。

話が一寸違ふが組合は組織労働者が多いが僕のような個人経営の所に勤めている者は不平不満

なお閉会後、懇談の際このような会合をもつことについての希望が非常に強かった。



